

【例題－心理6】

有意味受容学習に関する記述として妥当なのはどれか。

1. 学習すべき知識や概念を教師が教えるのではなく、学習者に自分の力で発見させようとするものである。
2. クラス全体を6人程度の小集団に分け、短時間の話し合いをさせ、小集団ごとの結果を全体で共有するものである。
3. 一斉授業において、形成的評価を指導の途中で複数回行い、その結果に応じた個別指導をおりまぜることにより、ほぼ全ての子どもに目標を達成させようとするものである。
4. 系統だった内容をスモールステップの原則に基づいて配置し、学習者自身が学習を進め、反応の正誤を確認できるようにすることで学習目標を達成させようとするものである。
5. 一斉指導において、先行オーガナイザーと呼ばれる事前情報を提示し、学習者が各自の認知構造に関連付けながら理解・知識の定着ができるようにするものである。

(正答) 5